



”特殊ガラスと薄膜で光を科学する”

# 2025年度上期

(2025年4月1日～2025年9月30日)

## 決算説明会

岡本硝子株式会社

(東証スタンダード 7746)

2025年11月28日

## I.上期 財務・業績の概況

- 1.損益計算書の状況(連結)
- 2.貸借対照表の状況(連結)
- 3.キャッシュフローの状況(連結)
- 4.売上高・利益の推移
- 5.セグメント別売上高(連結)
- 6.上期 予想と実績の差異

### I.1.損益計算書の状況(連結)

(単位:百万円・%)

	A				B		前年度 同期比 B-A	増減 %
	2024年度 上期累計		2024年度通期		2025年度 上期累計			
	金額	百分比	金額	百分比	金額	百分比		
売上高	2,240	100.0	4,686	100.0	1,886	100.0	△353	△15.8
うち光学事業	1,038	46.3	2,024	43.2	898	47.6	△139	△13.5
販売費及び 一般管理費	737	32.9	1,448	30.9	770	40.8	33	4.5
営業利益	△25	△1.2	126	2.7	△266	△14.1	△240	—
経常利益	△89	△4.0	84	1.8	△307	△16.3	△218	—
親会社株主に帰属 する純利益	△81	△3.7	89	1.9	△226	△12.0	△144	—

### I.2.貸借対照表の状況(連結)

(単位:百万円)

	a	b	c	C-a 前年度 同期比	c-b 前年度末比
	2024年度 上期末	2024年度末	2025年度 上期末		
流動資産	3,877	4,191	4,445	568	253
固定資産	4,042	4,488	4,377	334	△111
資産合計	7,919	8,680	8,822	902	142
流動負債	2,752	3,106	2,254	△497	△851
固定負債	3,556	3,769	4,013	456	243
負債合計	6,308	6,876	6,268	△40	△608
純資産合計	1,611	1,803	2,554	943	750
負債・純資産合計	7,919	8,680	8,822	902	142

## I.3.キャッシュフローの状況(連結)

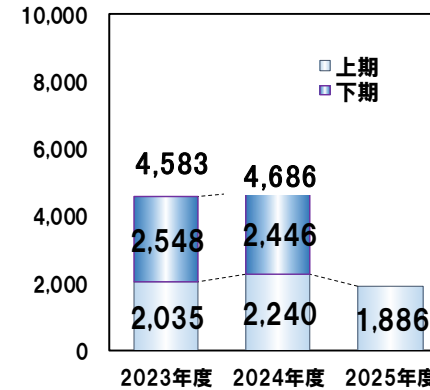
(単位:百万円)

	2024年度上期	2025年度上期	前年度同期比
営業活動による キャッシュフロー	192	221	29
投資活動による キャッシュフロー	△262	△147	114
財務活動による キャッシュフロー	73	405	331
現金及び現金同等物 期末残高	1,639	2,280	641

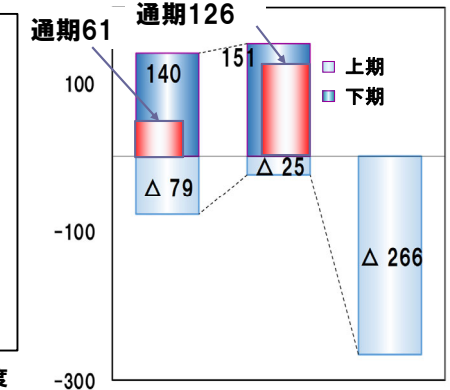
## I.4.売上高・利益の推移

前年度同期比 売上高353百万円減少、営業利益240百万円減少

(単位:百万円) 連結売上高の推移



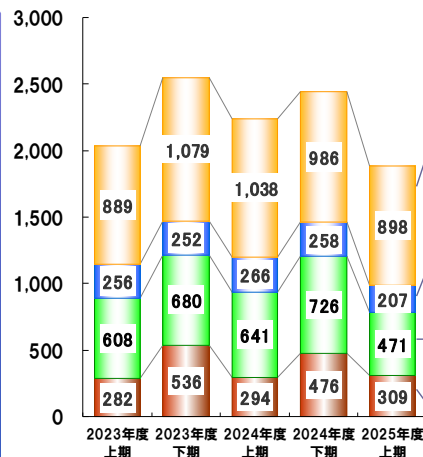
(単位:百万円) 連結営業利益の推移



2023年度 2024年度 2025年度

## I.5.セグメント別売上高(連結)

(単位:百万円)



### 光学事業

売上:898百万円 前年同期比 13.5%減収  
セグメント利益: 47百万円 前年同期比74.9%減益  
プロジェクター用反射鏡 数量 12.1%減、売上 14.7%減  
フライアイ 数量 16.9%減、売上 10.0%減  
フライアイ生産用ガラス溶融炉を更新し、2025/4月からの稼働で減価償却費が増加

### 照明事業

売上:207百万円 前年同期比 22.2%減収  
セグメント利益: 2百万円 前年同期比24百万円増益  
自動車ヘッドライト・フォグライト用カバーガラスでの不採算製品からの撤退により採算改善

### 機能性薄膜・ガラス事業

売上:471百万円 前年同期比 26.5%減収  
セグメント損失: 85百万円 前年同期比100百万円減益  
当社製偏光子は、顧客にてファラデー回転子と組み合わせて使用されるが、データセンタ投資の活発化でファラデー回転子の需給逼迫。この影響で当社への偏光子の発注が激減

### その他の事業

売上:309百万円 前年同期比 5.2%増収  
セグメント利益:28百万円 前年同期比 36.0%減益

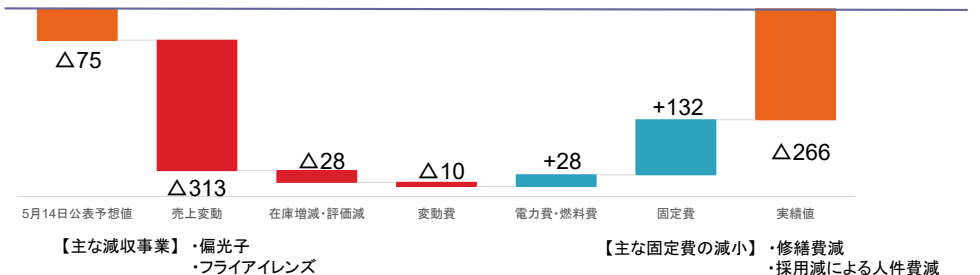
## I.6.上期 予想と実績の差異

2025年上期

(百万円)

	売上高	営業利益	経常利益
5月14日公表予想値	2,279	△75	△116
実績値	1,886	△266	△307
増減額	△393	△191	△191

営業利益予想と実績の差異



## II. 2025年度について

### 1. 通期業績予想(連結)

### 2. 主要な取り組みの

#### 上期における進捗状況

#### (1) 生成AIデータセンター向け製品

- ① ガラス偏光子
- ② 放熱基板

#### (2) 次世代車載部品への展開

#### (3) コアコンピタンス【硝材開発】

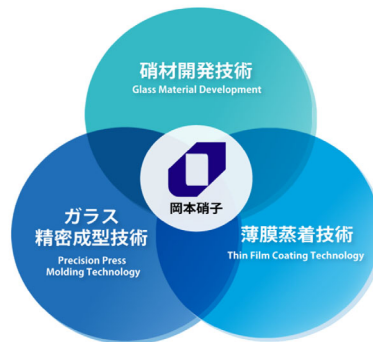
- ① 電子部品用フリット
- ② ガラス封止蛍光体

#### (4) コアコンピタンス【精密成型】

- ① 固体光源対応レンズ
- ② 成型の再進化

#### (5) コアコンピタンス【薄膜蒸着】

機能性薄膜とガラス封止蛍光体の複合化



## II.1. 通期業績予想(連結)(1/2)

2025年度通期の連結業績予想⇒5月14日公表予想値を据え置き

【据え置きとした理由】

- ・プロジェクターの在庫調整が順調に進んでいる  
→フライアイレンズ、反射鏡の需要回復傾向
- ・ファラデー回転子(顧客にて当社製偏光子と組み合わせる)の供給増見通し  
→偏光子の需要回復
- ・化粧品への加飾蒸着、UV反射鏡の需要が好調
- ・海洋事業ガラス球需要が当初見通しを上回る見込み

	2023年度 実績	2024年度 実績	2025年度 5/14予想
売上高 (百万円)	4,583	4,686	5,277
営業利益 (百万円)	61	126	104
経常利益 (百万円)	146	84	38
親会社株主に帰属する 当期純利益 (百万円)	101	89	20

## II.1. 通期業績予想(連結)(2/2)

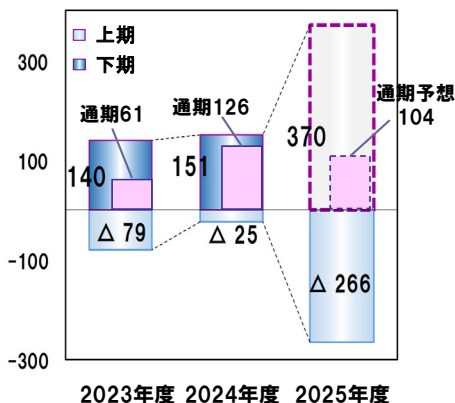
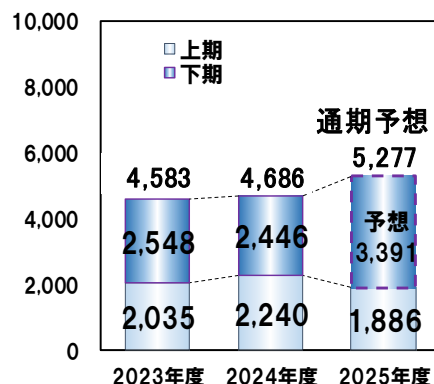
営業利益 前期比22百万円減少を予想

(単位:百万円)

連結売上高

(単位:百万円)

連結営業利益



## II.2.(1) 生成AIデータセンター向け製品

### ① ガラス偏光子(1/2)

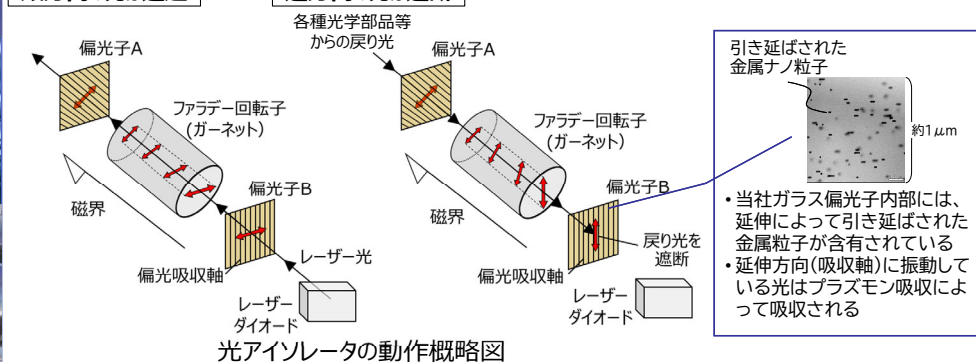
#### 光アイソレータに欠かせない岡本硝子のガラス偏光子

生成 AI に欠かせないデータセンターの建設が世界中で加速しており、そこで使用される光アイソレータ用ガラス偏光子の需要も拡大基調にあります。

上期では、ファラデー回転子の需給逼迫により、当社への偏光子の発注が減少していましたが、足元では解消されつつある。

順方向の光は透過

逆方向の光は遮断





## Ⅱ.2.(1)生成AIデータセンター向け製品

### ① ガラス偏光子(2/2)

AI需要によるデータセンターの増設ラッシュは、建設の段階からデータセンターに納入される機器へ移りつつある。

**データセンター用光アイソレータの需要拡大**

#### 【偏光子設備投資計画】

所在地	本社工場(千葉県柏市)
設備の内容	ガラス偏光子製造設備
累計投資予定金額	100百万円
資金調達方法	自己資金
完成後の生産能力	生産能力100%増加

## Ⅱ.2.(1)生成AIデータセンター向け製品

### ② 放熱基板(1/3)

#### 機械強度の高い放熱基板で脱炭素社会の実現に貢献していく

U-MAP社が開発した独自素材「Thermalnite」(繊維状窒化アルミニウム単結晶)を添加した窒化アルミニウム複合材料と、岡本硝子の持つセラミックスシートの生産技術を、経済産業省関東経済産業局「中堅・中小企業とスタートアップの連携による価値創造チャレンジ事業」への参画により本格的に連携開始

#### 岡本硝子株式会社

特殊ガラスで世界トップシェアの地域未来牽引企業

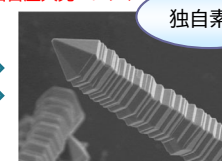
シート化技術



#### 株式会社U-MAP

繊維状窒化アルミニウム単結晶で放熱課題の解決に挑む名古屋大発ベンチャー

独自素材



AlN多結晶 Thermalnite



基板内部に柱状組織を実現することで、クラックの伸長を抑制し窒化アルミニウム基板の弱点である機械特性を向上させる

	従来品		開発品
	窒化ケイ素(Si3N4)白板	窒化アルミニウム(AlN)白板	Thermalnite添加窒化アルミニウム(AlN)白板
熱伝導率	80~90 W/m・K	170~200 W/m・K	≥200
破壊靱性	5~7MPa・m <sup>1/2</sup>	2~3 MPa・m <sup>1/2</sup>	5~7MPa・m <sup>1/2</sup>

従来品にはない  
**高熱伝導率と高強度の両立**  
を実現

## Ⅱ.2.(1)生成AIデータセンター向け製品

### ② 放熱基板(2/3)

#### ■ 市場動向と顧客開拓状況

##### 【窒化アルミニウム放熱基板の市場動向】

生成AI投資の増大による光通信用LD用放熱基板の需要が増加、車載IGBT基板、LED用放熱基板の需要も堅調に推移し、絶縁放熱基板の全体市場規模は2030年に2000億円に達する予測

(出典:Global Aluminum Nitride Substrate Market Outlook 2023(QYR Research))

#### 放熱基板の需要が大きく増加

- ✓xEV需要の増大
- ✓自動車の電装化(自動運転技術等)
- ✓5G通信網整備

→放熱性の向上で環境と安全に貢献

#### 【顧客開拓状況】

窒化アルミニウム白板	国内 9社 / 海外 10社	発光半導体部品 ロジック半導体部品 パワー半導体部品	15件 2件 2件
薄膜回路基板	国内 7社 / 海外 2社	発光半導体部品	9件
厚膜回路基板	国内 7社 / 海外 3社	パワー半導体部品 半導体製造装置	9件 1件
積層回路基板	国内 1社	ロジック半導体部品	1件

#### 【想定される用途】

- ・自動運転技術の発展に伴い需要が増大するECU基板の放熱(特に振動の大きいバス等の商用EV車)
- ・パワー半導体を利用した車載センサーの放熱
- ・リチウムイオン電池の放熱
- ・ミリ波利用による通信基板の放熱
- ・ハイパワーLEDの放熱

## Ⅱ.2.(1)生成AIデータセンター向け製品

### ② 放熱基板(3/3)

#### ■ 設備稼働状況等

- ・2023年8月 本社工場(千葉県柏市)に開発・製造設備設置完了
- ・2024年11月 □2~4.5インチ基板の量産体制を確立/稼働開始
- ・2025年10月 量産出荷開始

- ・窒化アルミニウム白板(170W品) :国内メーカーへ量産出荷開始  
国内・海外の複数社にサンプル提供中
- ・窒化アルミニウム白板(200W品) :国内メーカー製品認定完了  
国内・海外の複数社にサンプル提供中
- ・窒化アルミニウム白板(230W品) :国内・海外の複数社に製品紹介中
- ・窒化アルミニウム0.1mm超薄板基板:国内メーカーにサンプル提供開始
- ・マスターカードサイズ(7.5×5.5インチ)窒化アルミニウム白板:開発推進中
- ・熱伝導率230W/m・K窒化アルミニウム白板製品:開発推進中
- ・積層回路基板:開発推進中

## Ⅱ.2.(2)次世代車載部品への展開

「硝材」「成型」「薄膜」3つのコア技術を進化させ、次世代車載部品への採用を狙う

		対応する技術
ライティング	・独自成型技術G-injection®の進化で、複雑立体形状／両面形状レンズを実現 ・固体光源に対応したガラス封止蛍光体「PiG (Phosphor in Glass)」の提案 →国内Tier1から量産受注したADB用レンズ2種は25.下期より量産納入開始	硝材 成型 FP-GI 薄膜
センシング	・ADASに欠かせないLiDAR用カバーガラスと併せて、近赤外線フィルター、高反射ミラー「Hi-Silver®」を展開。 →Tier1向けLiDAR用カバーガラスとして試作案件を受領、客先協議を進行中	硝材 成型 FP 薄膜
イメージング	・ガラスと特殊薄膜の融合で、内装デザインに合う次世代クラスターを実現 ・HUDに必要な各種形状の反射ミラー等の光学部品の展開	硝材 成型 FP 薄膜
インテリア	・成型による立体形状を実現し、ガラス特有の質感・重厚感に加え、加飾技術との組み合わせにより、ガラスの魅力を最大限に引き出し他社との差別化を図る。 →国内Tier1候補先の商談室にサンプルを展示するなど、具体的な引合案件の受注に向けた仕掛けを展開中	硝材 成型 GI 薄膜
UV (殺菌・除菌)	・快適な車内を実現する様々なウイルス不活性化や殺菌対策にUV-C波長を最大限有効活用可能な紫外線高反射膜、フィルター等を提案	硝材 成型 薄膜
電動化 その他	・xEV需要増大、自動車の電装化、コネクティビティ化に向け、高い強度と熱伝導率を両立する放熱基板を提案	硝材 成型 薄膜

特殊ガラスと薄膜で光を科学する 17

## Ⅱ.2.(3)コアコンピタンス【硝材開発】

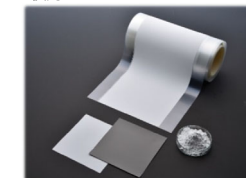
### ① 電子部品用フリット

5G/6G通信及び半導体検査装置等向けガラスフリットでDX推進に貢献していく

- 高周波・ミリ波通信デバイス用材料
- 半導体検査装置用材料

- ・5G通信用LTCCデバイス用ガラス粉末及びグリーンシート
- ・プローブカード用ガラス粉末

当社製ガラスフリット(=非磁性材料)を使用したグリーンシート



フリット拡販進捗状況('25年11月時点)

	段階	件数
開発	共同開発案件	1社1件
引合受領	引合い受領 / サンプル出荷前	4社4件
サンプル出荷	1次評価用サンプル出荷し評価中	5社5件
1次評価	材料初期評価合格	4社5件
2次評価	量産工程の品質確認合格	3社3件
増量試作	量産工程の品質ばらつき確認合格	1社1件
材料認定	製品仕様・価格の合意	0社0件
量産試作	顧客製品の品質確認合格	1社1件
量産	顧客製品の仕様・価格の合意	5社5件



特殊ガラスと薄膜で光を科学する 18

## Ⅱ.2.(3)コアコンピタンス【硝材開発】

### ② ガラス封止蛍光体

発光効率の高さなどから「青色LED+蛍光体」の白色光が広く普及

青色LED光で黄色蛍光体を光らせると発光効率が高く、LEDの素子数も少なくできる。これまでは蛍光体を樹脂で封止することが多かった。

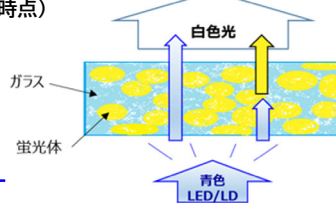
高輝度LED、LD向けにガラス封止体のニーズが高まる

プロジェクター、車載などで高輝度が求められるようになったが、樹脂では高輝度LEDの発熱、LDの高エネルギーに耐えられない。

お客様の用途やコストイメージに合わせたガラス封止蛍光体を開発中

・焼結基板(プレート)+印刷基板+ガラスフリット  
進捗状況('25年11月時点)

- 車載用:  
1社1件 試作中
- PJ用:  
1社2件 試作中
- 照明用:  
2社2件 試作中
- その他:業務用プリンター  
1社1件 試作中



青色レーザー光がガラス封止蛍光体を通過すると白色光となる。

特殊ガラスと薄膜で光を科学する 19

## Ⅱ.2.(4)コアコンピタンス【精密成型】

### ① 固体光源対応レンズ

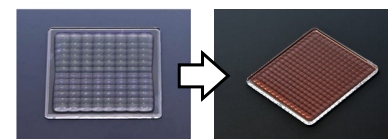
高精度、小型・微細レンズ、複雑立体形状レンズの実現で、固体光源化等による顧客要求仕様の変化に確実に対応

□ プロジェクター分野・・・高精度、微細化・小型化

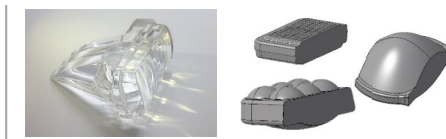
これまでの使用目的(光の高密度化及び均一性)に加え、レーザーなど固体光源化に伴い、プロジェクターの小型、高精細という進化をも含めて、ガラスレンズの高精度化・微細化への要求が拡大することを見込む。

□ 車載分野・・・進化するヘッドランプと複雑立体形状レンズ

高出力LEDやレーザーの採用によるヘッドランプ光源の変化や、ADB(配光可変ヘッドランプ)、LiDAR等のセンシング機能をヘッドランプに組込む等のトレンドが今後加速していくものとみられ、複雑立体形状をもつガラスレンズへの要求が拡大することを見込む。



通常フライアイレンズ → 微細フライアイレンズ



G-injection®による複雑立体形状レンズ

特殊ガラスと薄膜で光を科学する 20



## Ⅱ.2.(4)コアコンピタンス【精密成型】 ② 成型の再進化

### コア技術 ダイレクトプレス再進化

- ダイレクトプレス技術を更に磨きあげ、レンズの小型化、高精度化や微細化に注力
- 複雑立体形状成型が可能なG-injection®(GI)成型にて、高精度異形レンズを実現
- FP成型技術により、フライアイレンズの高精度化・微細化に対応



★FP成型では、製造原価低減に加え、製品1個当たりに必要な熔融ガラス量を削減可能  
⇒製品1個当たりのCO2排出量削減

2025年4月 新炉/新設備稼働開始

特殊ガラスと薄膜で光を科学する 21

## Ⅲ. TOPICS (1/4)

### TOPICS 1

- 江戸っ子1号シリーズ
  - ①音響灯台用：深海を航行するAUV(自律型無人探査機)の位置座標として海のGPSの役割を担う
  - ②環境調査用：深海底に堆積するレアアースの採掘における環境影響評価ツールとして活躍

### ■耐圧ガラス球シリーズ

- ①CCS(Carbon Capture & Storage:二酸化炭素の回収と貯留)  
：CCSに最適な海底地盤を調査するプロジェクトへガラス球を供給



### 商談状況

#### ■江戸っ子1号シリーズ

国立研究開発法人 海洋研究開発機構(以下「JAMSTEC」)が 2025年7月30日に公告した、『観測モジュール対応型「江戸っ子 1号」の購入』の入札に参加し、¥112,202,950(税抜き)で落札。JAMSTECのHP上で、2025年9月17日をもって契約締結(2025年11月13日ニュースリリース)

#### ■耐圧ガラス球シリーズ

浮力・内蔵量共に最大の17インチ球で海底観測機器への採用を目指す。樹脂カバー「ハードハット」の自社開発を進め、コスト競争力を向上

特殊ガラスと薄膜で光を科学する 23

## Ⅱ.2.(5)コアコンピタンス【薄膜蒸着】 機能性薄膜とガラス封止蛍光体の複合化

### コア技術を融合し、固体光源化に対応する新商品提案

「Hi-Silver®」(反射型)に加え、新たにダイクロイックフィルタ(透過型)とガラス封止蛍光体「PiG」も複合化

薄膜蒸着技術と材料開発技術との融合により、プロジェクター・車載分野の固体光源化拡大に対応すべく、性能面とコスト面を両立  
各種ガラス商品を提案し、顧客ニーズに対応



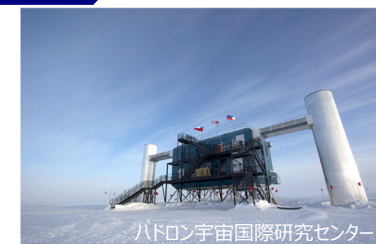
複合化商品

特殊ガラスと薄膜で光を科学する 22

## Ⅲ. TOPICS (2/4)

### TOPICS 2

南極IceCube計画に当社の耐圧ガラス球「D-Egg」が採用。従来の卵形の形状と比べ、氷河への穴開け時の効率を向上させ、かつ、一球当たり複数個の光電子増倍管を搭載した「Gen2」の形状がほぼ確定し、「Gen2 Tall」に名称変更



©Felipe Pedreros, IceCube/NSF

### 南極点でのニュートリノ観測を支えるガラス球



(C)千葉大ICEHAP

- ・当社の耐圧ガラス球「D-Egg」は南極点下の氷中1,500~2,000メートルの深さまでドリルを使って掘られた穴の中に設置
- ・溶けた氷が再び氷になる時にかかる70Mpaの圧力に耐え、目づ、宇宙から飛来するニュートリノが大気中の粒子とぶつかった時に放出されるチェレンコフ光と呼ばれる紫外線を透過すべく、紫外域の透過率を向上させたオリジナル硝材を使用
- ・海外製はマイナス気温になるとガラス部分から放射線が発生し、観測時のノイズとなる事から、放射線が発生しない当社製への期待が高まっている。

特殊ガラスと薄膜で光を科学する 24

### Ⅲ. TOPICS (3/4)

#### TOPICS 3 放射性廃棄物のガラス固化

当社は、高レベル放射性廃棄物のガラス固化に使用されるガラス原料のビーズ(球体)化を目指し、ワークショップ\*に結成実施当時から参画  
球体化したガラスビーズは、長さ数メートルの配管を通り、固化炉へ投入される仕組みとなっている。配管を詰まらせることなく固化炉へ、ビーズを連続投入するため、粒径や形状が揃ったガラスビーズを製造する為の適正条件の確立を目指した試作開発を実施

\*高レベル放射性廃棄物の問題解決への取り組みが盛り込まれた「エネルギー基本計画」が2014年に閣議決定。この基本計画に基づく国家プロジェクト「次世代再処理ガラス固化技術基盤研究事業(メンバー: IHI, 日本原燃、日本原子力研究開発機構、電力中央研究所)」と電気硝子工業会の間でワークショップを実施

### Ⅲ. TOPICS (4/4)

#### TOPICS 5 ガラスプロダクトブランド illumiiro

##### ➤ 柏市ふるさと納税返礼品として取り扱い開始

2025年10月より、千葉県柏市のふるさと納税返礼品としての取り扱いを開始。あわせて、地元柏市でPOP-UPストアを出店し、顧客接点の拡大を図った。

現在は、大手百貨店をはじめとする小売店舗との商談を通じて販路拡大を推進。引き続き、商品ラインナップの充実と販売体制の強化に取り組む。

illumiiro



第1弾商品 揺れるグラス



第2弾商品 ガラスリング

本日は当社説明会へ  
ご出席いただきありがとうございました。  
今後ともご指導とご鞭撻を賜りますよう  
お願い申し上げます。

岡本硝子 株式会社

(注)スライドに記載された当社の見通し、戦略等は将来の市場動向、消費動向、経営環境その他予測不可能な要素により、異なる結果となる可能性を含んでおります。このため弊社は今回発表した内容を全面的に確約する義務を負うものではありません。